学びの広場

鳥に親しむ ～町の鳥・セグロセキレイ～

町の鳥に指定されているセグロセキレイ。その生活を知るため、朝早く取材しました。日の出のあと、朝早い時間帯は野鳥もご機嫌のよう、心良く応じてくれました。

セグロセキレイの英名は
JAPANESE　WAGTAIL
「日本の尾羽を振る鳥」の意

はじめまして！僕は〝学びの広場〟を担当している記者です。あなたの住んでいる場所や生活について教えてください。

ジジッ、ジジッ。住んでいる場所は酒匂川の近くだよ。建物の屋上などに巣を作っているんだ。先祖は河原の石の下に巣を作っていたけど、流されてしまったりするからね。日中は、巣の近くの河原などにいるよ。年齢は4才。この辺りでは一番の長老だよ。昨年あたりまでは年2回子育てしてたけど今年は川虫が羽化する5・6月ごろ1回かな。

君の好きな食べ物は何かな？

ジジッ、ジジッ。主に河原の昆虫で、トビケラとカワゲラとカゲロウの幼虫などが好物だね。雨のあと、河原の小石の下から流されて岸に打ち寄せられてくるんだ。4月になると川虫が羽化し始める。そのときを狙っていただく。羽化したては成虫でもみずみずしいからね。幼虫に優るとも劣らない味なんだ。

カワゲラの幼虫

カゲロウの幼虫

君はいつもしっぽを振って、歩きまわっている。どうしてかな？

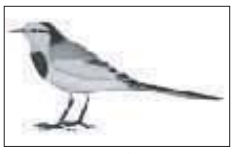
ジジッ、ジジッ。食事のためだよ。河原の水辺を歩き回って、砂や小石だけじゃない大きな石だってスイスイ歩いて乗り越えなくっちゃいけない。バランスが大切。そのためには尾を振らなくっちゃ転んでしまうんだよ。人間も、綱渡りをする芸人さんは長い棒でバランス取るだろう。それと同じことだよ。

ハクセキレイとよく似ていますが、住んでいる場所、縄張りなどは違うのですか？

ジジッ、ジジッ。ハクセキレイは昆虫ならトンボでもガでもハエでもクモでも食べる。我々の仲間は川虫しか食べない。河原からはなれた「酒匂川左岸用水路」「役場前の道」や「子どもの館の芝生」で尻尾を上下させているのはハクセキレイだよ。ハクセキレイは住める所も広く松田でもぼくらよりずっと多い。でも、河原はぼくたちの縄張りだね。

言い伝えによると、鎌倉時代に住み始めた町の開祖「松田氏」より我々の先祖が酒匂川中流域に住み始めた方が古いらしい。留鳥だから、先祖代々酒匂川の川辺などに住んでいるんだ。

セグロセキレイ



ハクセキレイ

え！見分け方？
ハクセキレイは顔が白っぽい。我々は黒っぽい。背はどちらも黒いよ。セキレイの仲間だからね。

外国のバードウォッチャー（バーダー）が会いに来ると聞くけど。国際的に名声が轟いているんだね。

ジジッ、ジジッ。ぼくたちは日本にしかいないからだよ。外国の人にはあこがれの野鳥らしい。同じセキレイ科の鳥でもハクセキレイは世界中にいるんだ。でも、ぼくたちは日本の固有種で、町の鳥としても指定されているよね。

みんなが会いたいと思ったら、どこで会えるのかな？

ジジッ、ジジッ。十文字橋のあたりの河原を探してごらん。川のふちを歩いている姿などを見られると思うよ。あとは、「ジジッ、ジジッ」っていう鳴き声と飛び方を見るんだ。バタバタ・スーッと波形に風に流れるように飛んでいる。この飛び方は、尾の長い鳥しかできないんだ。羽根をとじたときは、尾羽根を広げて浮力をつける。ヒヨドリも同じ飛び方だよ。みんなが会いに来ることを楽しみに待っているよ。

セグロセキレイの飛び方

8月31日は総合防災訓練

【時間：9:00～　場所：町役場、各自主防災会など】

－平成20年度防災訓練テーマー
自らの行動と互いに助け合う力により災害に強い町に

今年は、マグニチュード８、震度７の東海地震が発生したとの想定で、午前９時にサイレンが鳴り、防災訓練を開始します。町役場、町内の26自主防災会では、各地区の状況に合わせた訓練を行います。災害時に、自ら行動して互いに助け合うためにも日ごろの備えは必要です。皆さんも各自主防災会の訓練に参加しましょう。　【問合せ】庶務課防災防犯係　☎(83)1221

広告